

台風への備えと注意点

台風が接近しているとき

- 防災行政無線の放送に注意しましょう（戸別受信機の乾電池の確認を忘れずに）
- テレビやラジオで最新の気象情報を入手しましょう
- 停電に備えましょう（懐中電灯や携帯ラジオ、予備の乾電池などをあらかじめ準備しましょう）
- 家の周りや水路などに置いている物などを片付けましょう
（強風で物が飛ばされる、水路が詰まるなどの災害を未然に防ぎましょう）

台風が来たとき

- 早めの自主避難を心がけましょう（雨風が強くなってからの避難は危険なため早め行動を）
- 役場からの避難情報に注意しましょう
- 最新の気象情報に注意しましょう

役場からの避難情報の種類

台風など災害時において役場から発令する避難情報は、**主として防災行政無線の戸別受信機（屋外拡声子局）**で行います。その種類と内容については次のとおりです。

避難準備情報

非常持出袋の内容確認など避難の準備をする。また、災害時要配慮者など避難に時間を要する方は避難を開始する。

避難勧告

災害の発生する可能性が高まっており、定められた避難所へ避難を開始する。

避難指示

災害の発生する可能性が明らかに高まっている、あるいはすでに災害が発生した状況であり、直ちに避難を完了する。そのいとまがない場合は生命を守る最低限の行動をとる。

なお、役場から避難情報が発令される前でも危険を感じたら**積極的に自主避難**をするようにしましょう。

各地区における災害時の主な避難所

地区名	災害時の避難所
小川	東吉野村住民ホール・小川生活改善センター
小	小公民館・東吉野こども園
木津川	木津川交流センター
小栗栖	小栗栖交流センター・東吉野中学校体育館
中黒	中黒公民館・東吉野村運動公園体育館
鷺家	鷺家集会センター
三尾	三尾区民センター
狭戸	狭戸区集会所
大豆生	大豆生公民館・ふるさと村
大又	大又生活改善センター

地区名	災害時の避難所
麦谷	麦谷公民館
萩原	明光寺
伊豆尾	伊豆尾なごみホール
日裏	日裏区集会所
木津	木津ふれあいセンター
杉谷	杉谷交流センター
平野	平野公民館
瀬野	白馬寺
谷尻	谷尻公民館

※ 地域に起こりうる災害を想定し、この防災マップを参考に状況に応じて避難できる場所を決めてください。

備蓄品について

東吉野村では、各地区の避難所となっている公民館等に備蓄しており、その内容は次のとおりです。

項目	公民館等に備蓄している備蓄品
食糧品関係	アルファ米（五目飯）・カンパン
居住必需品	毛布・発電機（カセットボンベ式）・投光器

避難所の適用性基準

浸水・・・流域全体に48時間総雨量330mm、ピーク時の1時間に最大77mm程度の大雨が降ったことにより高見川がはん濫した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより求めたものを参考

耐震・・・昭和56年5月31日以後に建築確認を得て建築された建物又は昭和56年5月31日以前に建築され、耐震改修が終了した建物

みなさんの家庭でできる備え

非常持出袋の中身を確認しておく

地震はいつ起こるかわかりません。ふだんの余裕のあるときに食糧や水、衣類などのご家庭での備蓄品について消費期限が過ぎていないか確認しておきましょう。また、村でも災害時の備蓄を進めておりますが、ご家庭によって常備薬や紙おむつなど普段の生活での必需品は様々ですので、それぞれのご家庭で実際に避難することを想定し内容の更新をしていきましょう。

避難場所・避難経路の安全を確認しておく

巨大地震の直後は余震が続くことが多く、どの道を通って避難所まで避難するのが重要です。台風などの風水害とはまた違った被害、例えば転石や倒木、落下物など、**家の周囲や避難路にどのような危険があるのかについて普段から考えておく**ようにしましょう。

家族との連絡手段を決めておく

大規模な災害時には電話の回線が込み合い、かからない、あるいはかかりにくい状況となります。ご家庭で伝言板を作っておく、携帯電話会社等が提供する災害時伝言ダイヤル（伝言掲示板など）を活用するなど、**あらかじめ家族との連絡手段を決めておく**ようにしましょう。

家具や家電製品などは固定しておく

阪神大震災では就寝中に家具の下敷きとなりお亡くなりになられた方もおられます。ご家庭の家具や家電製品、とくに寝室やリビングなどよく過ごす場所については、**家具等を固定具等で固定する**ようにしましょう。

特別警報について

気象庁では、激しい大雨や地震などにより重大な災害の起こるおそれがあるときに従来の警報に加えて特別警報を発表します。

特別警報が発表された場合、**数十年に一度しかないような非常に危険な状況**にありますので、屋外の状況や避難指示・勧告等に留意し、**ただちに命を守る行動をとってください。**

◎ 詳しくは気象庁HPで <http://www.jma.go.jp>



防災行政無線(情報伝達)について

防災行政無線は、定時チャイムや朝夕の無線放送、通行止などの臨時放送のほか、災害が起こった際の避難情報の伝達など日常生活に欠かせない重要なものです。

みなさまがご家庭でお使いいただいている戸別受信機は、定期的に点検・掃除を行い、**少なくとも1年に1度は電池を入れ替える**など適切な維持管理をお願いします。

戸別受信機の音声はわかりやすく聞こえていますか？

- 戸別受信機の声が聞き取りにくい ○ 「ザーザー」と雑音が混じる
 - 日によって鳴らないときがある など
- 戸別受信機が聞き取りにくい場合は、次のような対処をしてみてください。

- ① 電池を新しいものに交換する
- ② 電源コードが正しくコンセントにさされているかを確認する
→ 正常な場合は電源ランプが点灯（ずっとついた状態）します
- ③ アンテナを最大まで伸ばす
- ④ 周りに電波障害を起こす機器がある場合は受信機の設置場所を変えてみる
→ テレビや冷蔵庫、エアコン、洗濯機、LED照明などの周辺では電波障害が起きて雑音が混じることがあります。

①～④を試しても解消されない場合は、故障や電波状態が悪い場合が考えられますので役場までお問い合わせください。調査のうえ、故障の場合は無償で代替機器と交換いたします。

防災マップについて

今回の防災マップは、地区ごとに、地域の方々のお話を聞かせていただき、また、地区を調査させていただき作成いたしました。多くの方々にご理解とご協力をいただきましたことに厚く御礼申し上げます。

今後、各ご家庭で、あるいは地区で防災について考えていただく際に活用していただきたく思います。

また、この防災マップは、今後の防災対策事業や地区等からのご意見により修正・見直しを行ってまいります。